

技術移転に係わる目利き人材育成研修プログラム H18年度上期 **技術開発型中小企業対象コース** タイムテーブル

研修会場：岩手大学地域連携推進センター（2F 会議室兼ゼミ室）
〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5(岩手大学工学部内) TEL:019-621-6492 HP: <http://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/introduce/map.html>

(講師名:敬称略)

コース・講師名	時間 / 日程	募集	会場	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	
第1回 企業が大学と向き合う為の方法 【講師】 千葉 則茂 (岩手大学 地域連携推進センター) 丸山 敏彦 ((株)丸山技術コーディネート研究所) 藤川 昇 (JST産学連携推進部) 橋詰 徹 ((株)イノベーションマネジメントコンサルティング)	6/29(木)	15名 (第1～3 回同一 企業の 参加者)	岩手大学 地域連携 推進セン ター 2F		(会議室)	事務局説明	研修プログラム 説明	大学における知的 創造サイクルの形 成とイノベーション 創出の取り組み (岩手大学 千葉) (60分)	昼 食	大学の知を活用した ビジネス創出の事例 (丸山) (30分) (齋藤) (30分)	研究開発・事業化の ための公的資金の 活用方策 (藤川)(60分)	先端技術のビジネスプラン構築における マーケティングの重要性(橋詰) (120分)	交流会 (会費:2,000円)		
							研修のねらい 及び3回に渡 る研修全体の プログラム内 容とその進め 方について説 明する。	大学の知を活 かした、地域 の新産業起こし の大学の活 動を紹介し、大 学が地域の企 業ニーズに的 確に応える連携 方策を探る。		大学の知を活用 する視点から、 これまで担当し てきた事例を ベースに紹介 し、効果的な事 業形成に向け大 学等との効果的 な連携方策を模 索する。	公的資金を利用 して研究開発・ 国の支援制度に 関し、公的資金 の種類や活用 の前提条件、提 案書の記載のポ イントなど、JST の制度を中心に 事例を含めて紹 介する。	大学の知を利用したEarly Stage 技術の製品化・事業化に向け、 「ビジネスプラン構築のポイント」 や「マーケティングの勘所」を事 例を含めて、紹介する。 また、参加者のビジネスプラン 構築やマーケティングに関する 問題点について、討議を通して そのソリューションを助言する。			
第2回 知的財産戦略と事業の磨き方 【講師】 橋本 正敬 (前東京都知的財産総合センター 所長) 橋詰 徹 ((株)イノベーションマネジメントコンサルティング) 丸山 敏彦 ((株)丸山技術コーディネート研究所) 藤川 昇 (JST産学連携推進部)	6/30(金)	15名 (第1～3 回同一 企業の 参加者)	岩手大学 地域連携 推進セン ター 2F		(会議室)	集合 受付	技術開発型中小企業における 知財の戦略的活用法 (橋本)(120分)		昼 食	事業の磨き方 (シーズ・ニーズマト リックス変換による 市場の顕在化含む) (橋詰) (60分)	市場の関門を越える発展形態を探る(180分) (コーディネータの目から討議:齋藤)		発表 & 討議 (橋詰) (30分)	解散	
							技術開発型の中小企業が技術的強 みを活かした経営を進める為には、 知的財産のマネジメントを強化して いくことが肝要であり、東京都の知 的財産総合センターでの事例を踏 まえ、中小企業の皆様にその勘所 を説明する。 また、皆様からのご質問に対し討 論を通して、ソリューションを提供す る。			技術シーズ(S)と 社会・企業・製品 ニーズ(N)を、機 能を介して結びつ ける方法をチャー ト化したものがSN 変換であり、両者 の新結合により潜 在市場を発掘す る手法を紹介す る。	Gr グループ討議によるSN変換演習(丸山) 参加者の事例に基づき、SN変換チャートを利用し て潜在市場の顕在化のグループ研修を行なう。				
												Gr グループ討議によるSN変換演習(藤川) 参加者の事例に基づき、SN変換チャートを利用し て潜在市場の顕在化のグループ研修を行なう。			
第3回 ベンチャー企業の支援 【講師】 向山 尚志 (山口大学大学院 経営学研究科) 宮永 賢久 (オフィス・ノバ(株)) 橋詰 徹 ((株)イノベーションマネジメントコンサルティング)	7/28(金)	15名 (第1～3 回同一 企業の 参加者)	岩手大学 地域連携 推進セン ター 2F		(会議室)	集合 受付	ベンチャー・技術開発型中小企業の 財務と資本政策の勘所 (向山)		昼 食	私のベンチャー起業と経営 (宮永) (90分)		我が社の戦略的技術マネジメントとその 自己診断(参加者各10分間でプレゼン テーション)(宮永・橋詰) (135分)		全体 討論 & 総評 (宮永) (30分)	アンケート記入 & 解散
							ベンチャー企業の資金調達方策 の基本的な考え方及びベン チャーキャピタルの支援方策につ いてポイントを紹介すると同時 に、株式公開に向けた資本政策 についてその勘所を紹介する。 また、参加者の皆様からのご質 問の討議を通して、ソリューション を提供する。			これまでベンチャー企業 を経営してきた経験に基 づき、陥りやすい失敗事 例とその対策など、ベン チャー企業経営の勘所 を紹介する。 また、参加者の皆様のご 質問の討議を通して、ソ リューションを提供す る。	休憩 (15分)	これまでの3回の研修を通じて、技術 マネジメントの勘所を学んできたが、 その集大成として、各人5～10分程 度で、「わが社の戦略的技術マネジメ ント」を発表し、講師から更なる発展 に向けた助言を行なう。			